

10月20日開催 BIA 研究会 議事録

1. 日時：2014年10月20日（月）15:00～17:30

2. 場所：事業継続推進機構神田事務所

3. 出席者（敬称略）：

申し訳ありませんが、記録しておりませんでした。

4. テーマ：9月度の振り返り

注：9月度テーマ「BIAの必要性を語るにあたっての視点」

5. 議事

参考：9月度の時間の概念についての検討の概要を以下に示します。

岡田さん：「BCAO標準テキスト8版」の59P「時間の概念の整理」より、

MTPD > RTG > RTO

である、との説明。（140910_BIA研究会_検討資料の6/7P）

これに対し、参加者より異論、疑問などが出た。

そこで、細坪事務局長に解説をお願いしたところ、以下のご説明を頂いた。

・BCPの本来の考え方では

現状の復旧時間 > MTPD > RTO

ここで、RTOはBIA段階に導かれ、戦略・対策は実際にRTOを実現するためのものである。（RTGは存在しない）

・しかし、日本の多くの経営者から

「このようなBCPを実現しようとする、費用の面等で実現不可能である。

・・・実現しようとする、そのために倒産してしまう」

との声があった。つまり、実現性の無い議論になるとの指摘になった。

・実現性が無くては困るので、BCAOとしてはRTG（将来の目標）という概念を導入し、

現状の復旧時間 > RTO > MTPD > RTG

とした。

ここで、RTOは戦略・対策の検討結果として経営者が決定したもの。

RTGはBIAの結果のRTOに相当。

・このRTOは本来のRTGを実現できない事を意味し、決定した経営者にリスクを負う責任が発生したことを意味する。

- ・このへんの事は近く発行される「BCAO 標準テキスト9版」に反映する。

==以下、10 月度の内容==

- (5-1) 岡田さん：時間概念の整理 (BCAO) (141020_BIA 研究会_時間整理の 1/1P)
9 月度の細坪さんの説明に従って変更。

RTO > MTPD > RTG

参加者全員了解。

- (5-2) 事業継続ガイドライン (内閣府) での RTO 時間整理
齋藤より、時間概念の整理について
事業継続ガイドライン (内閣府)

(www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyuu/pdf/guideline03.pdf)

で、以下のように説明されていると報告された。

- ・ BIA 段階の RTO について (11P)

3.1.2 重要業務の決定と目標復旧時間・目標復旧レベルの検討

・・・この段階における目標復旧時間及び目標復旧レベルは、**実現性が未検証であるため、あくまで「案」にとどまる。**

- ・ 事業継続戦略・対策決定後の RTO について (16P)

4.1 事業継続戦略・対策の基本的考え方

・・・**経営者は、事業継続戦略とそれに基づいて実施する対策を決定し、その内、それぞれの重要業務の目標復旧時間及び目標復旧レベルについては、実現可能で対外的にも説明できるものとして、正式に決定する。**

以上